

社会資本整備総合計画の事後評価及び公表について

社会資本整備総合交付金は、地方公共団体が行う社会資本の整備その他の取り組みを支援することにより交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の安全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ることを目的として、地方公共団体が作成した社会資本整備総合整備計画に基づき実施するものです。

八百津町の公共下水道事業においてもこの交付金を活用して平成26年度から平成27年度までの2カ年間実施をしてみました、その実績についての評価及び公表をします。

社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書（事後評価書）

平成 28 年 9 月 30 日

計画の名称	八百津町における循環のみの実現(防災・安全)																												
計画の期間	平成26年度 ～ 平成27年度 (2年間)	交付対象	八百津町																										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																												
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道管渠（汚水）に係る長寿命化・耐震化方針検討率を0%（H26年4月）から100%（H28年3月）に増加させる。 ②効率的な事業実施を行うための事業計画策定率(汚水)を0%（H26年4月）から100%（H28年3月）に増加させる。 ③効率的な事業実施を行うための調査・計画策定率（雨水）を0%（H27年4月）から100%（H28年3月）に増加させる。																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H26年4月)</th> <th>(H27年4月)</th> <th>(H28年3月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①下水道管渠（汚水）に係る長寿命化・耐震化方針検討率 長寿命化・耐震化方針決定済み区域の面積（ha）／長寿命化・耐震化方針を定めるべき区域の面積（ha）</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②効率的な事業実施を行うための事業計画策定率 効率的な事業を行うための汚水事業計画策定済み区域の面積（ha）／汚水事業計画策定対象区域の面積（ha）</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③効率的な事業実施を行うための事業計画策定率 効率的な事業を行うための調査・計画策定済み区域の面積（ha）／雨水事業計画策定対象区域の面積（ha）</td> <td>-</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H26年4月)	(H27年4月)	(H28年3月)	①下水道管渠（汚水）に係る長寿命化・耐震化方針検討率 長寿命化・耐震化方針決定済み区域の面積（ha）／長寿命化・耐震化方針を定めるべき区域の面積（ha）	0.0%	100.0%	100.0%		②効率的な事業実施を行うための事業計画策定率 効率的な事業を行うための汚水事業計画策定済み区域の面積（ha）／汚水事業計画策定対象区域の面積（ha）	0.0%	100.0%	100.0%		③効率的な事業実施を行うための事業計画策定率 効率的な事業を行うための調査・計画策定済み区域の面積（ha）／雨水事業計画策定対象区域の面積（ha）	-	0.0%	100.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																										
	(H26年4月)	(H27年4月)	(H28年3月)																										
①下水道管渠（汚水）に係る長寿命化・耐震化方針検討率 長寿命化・耐震化方針決定済み区域の面積（ha）／長寿命化・耐震化方針を定めるべき区域の面積（ha）	0.0%	100.0%	100.0%																										
②効率的な事業実施を行うための事業計画策定率 効率的な事業を行うための汚水事業計画策定済み区域の面積（ha）／汚水事業計画策定対象区域の面積（ha）	0.0%	100.0%	100.0%																										
③効率的な事業実施を行うための事業計画策定率 効率的な事業を行うための調査・計画策定済み区域の面積（ha）／雨水事業計画策定対象区域の面積（ha）	-	0.0%	100.0%																										

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として八百津町で実施	平成28年7月
	公表の方法
	ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27					
A1-1	下水道	過疎	八百津町	直接	八百津町	汚水	全種	汚水管渠の長寿命化・耐震化調査検討	調査・検討資料	八百津町						1.8	達成
A1-2	下水道	過疎	八百津町	直接	八百津町	汚水	全種	効率的な事業実施のための検討（汚水）	検討資料作成一式	八百津町						4.6	達成
A1-3	下水道	過疎	八百津町	直接	八百津町	雨水	全種	効率的な事業実施のための検討（雨水）	検討資料作成一式	八百津町						30.1	達成
合 計												36.6					

注) 千円単位で四捨五入した事業費を百万円単位で表記しているため、合計は一致しない

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の状況	A1-1: 事業実施により、長寿命化対策事業、地震対策事業等、各種事業を別々に取り扱うのではなく、中長期的な視野に立って総合的に整備を進めることが可能となった。これにより限られた資金を有効且つ効果的に活用することができ、より健全な下水道経営を行うことが可能となった。 A1-2: 近年の実績に基づき、将来フレームや原単位を設定し、計画汚水量を見直した下水道事業計画（汚水）の策定を行った。これにより、実態に合った効率的な事業実施を行うことが可能となった。 A1-3: 各種調査（土質調査、地下水分布調査）を行うとともに、効率的な事業実施を行うための事業計画（雨水）の策定を行った。本業務の実施により、雨水対策事業（土木工事）の早期完了と、早期の効果発現が可能となった。				
II 定量的指標の達成状況	指標①下水道管渠（汚水）に係る長寿命化・耐震化方針検討率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0%		
	指標②効率的な事業実施を行うための事業計画策定率（汚水）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0%		
	指標③効率的な事業実施を行うための事業計画策定率（雨水）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

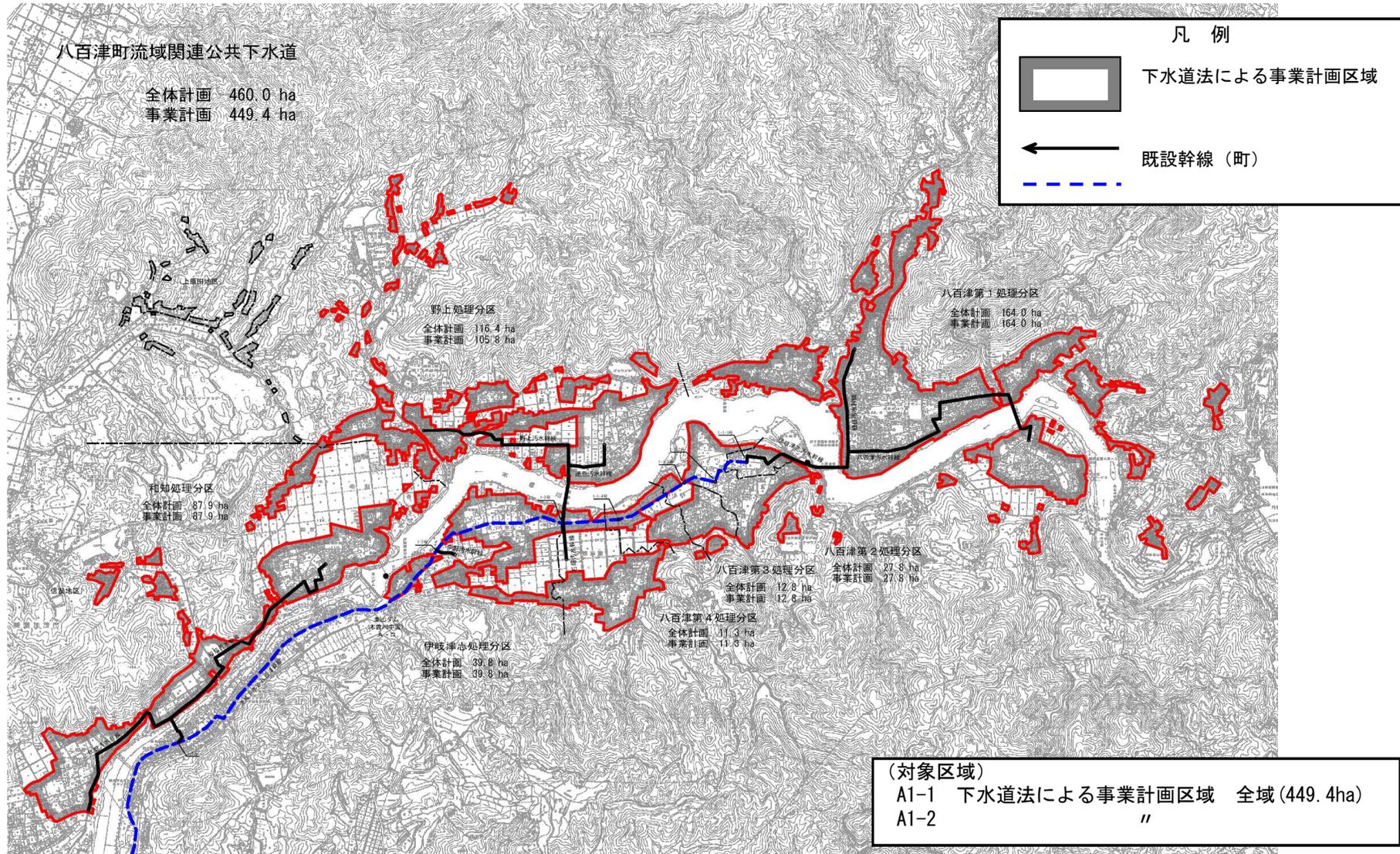
3. 特記事項（今後の方針等）

・本整備計画の調査検討結果を踏まえて、雨水管さよの効率的な事業実施の検討（計画・設計）を行い、工事の施工に進むことで浸水被害を解消していく。

図面②-1 水の安全・安心基盤整備

平成 28 年 9 月 30 日

計画の名称	八百津町における循環のみちの実現(防災・安全)		交付対象	岐阜県八百津町
計画の期間	平成26年度 ~ 平成27年度 (2年間)			



図面②-2 水の安全・安心基盤整備

平成 28 年 9 月 30 日

